

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第42報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係  
平成31年1月15日

## 1.最も数が多かった種類(優占種)

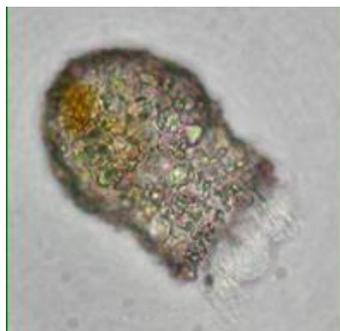
植物プランクトン第1優占種



*Cyclotella* sp.  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

細胞は正面から見ると円形で、中心付近は平らか、不規則な点紋があり、周辺部分は放射線状の点紋もしくは条線がある。

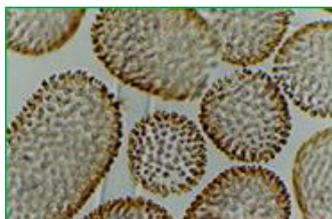
動物プランクトン第1優占種



*Codonella cratera*  
(スナカラムシ)  
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っている。

## 2.計数された異臭味原因プランクトン



*Uroglena americana*



*Phormidium tenue*

コメント

植物プランクトンは少なく、珪藻に属するヒメマルケイソウ(*Cyclotella* sp.)が優占種となった。体積で見ると褐色鞭毛藻に属するクリプトモナス(*Cryptomonas* sp.)が優占種となった。網別の体積では、珪藻類が総体積の約38%、黄色鞭毛藻類が約28%、褐色鞭毛藻類が約24%を占めた。動物プランクトンでは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が400個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは少なく、輝橙色のものが1,700細胞/ml計数され、深赤色のものは計数されなかった。また、生ごみ臭の原因となるウログレナ(*Uroglena americana*)が30細胞/mL、かび臭物質を生産するフォルミディウム・テヌエ(*Phormidium tenue*、物質:2-MIB)が20細胞/mL計数された。

## 3.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	400
第 2 優 占 種		(個体/L)
ワムシ類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	140

\* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係

## (2) 植物プランクトン

平成31年1月15日

第42報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *★	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i> ★	30		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	40		○
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	70		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	4		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	290	◎	
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	30		
(珪) <i>Urosolenia longiseta</i>	40		
(珪) <i>Asterionella gracillima</i>	16		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Cymbella</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80	○	◎
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	30		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(藍) 藍藻綱	20	2.7	0.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	160	21.9	27.9
(珪) 珪藻綱	421	57.6	37.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.4	8.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	110	15.0	24.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	10	1.4	1.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	731	総体積	5.82E+05
種 類 数	18	(μm <sup>3</sup> )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)  
ただし\*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) ★: 異臭味原因プランクトン
- 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	1月15日 細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	1,700

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。